

一般社団法人 日本鉱物科学会

2023年度 第2回定例理事会 議事録

【1】 招集年月日：2024年5月1日(水)

【2】 開催年月日及び時刻：2024年5月20日(月) 17時00分～18時57分

【3】 開催場所：山口大学理学部 大和田研究室
753-8512 山口市吉田1677-1
(ZOOM Meetingによるオンライン会議)

【4】 理事総数および定数：総数22名，定足数12名

【5】 出席理事数：19名

会長 大和田正明，副会長 井上 徹，理事 阿部なつ江，池田 剛，磯部博志，大藤弘明，鍵 裕之，亀井淳志，川本竜彦，河上哲生，興野 純，栗林貴弘，黒澤正紀，高澤栄一，富岡尚敬，永井隆哉，永瀧真理子，坂野靖行，M.Satish-Kumar

【6】 欠席理事数：3名 辻森 樹，土屋範芳，三宅 亮

【7】 出席監事：下林典正

【8】 オブザーバー：(理事以外の幹事，委員長等報告事項報告者)

出席：片山郁夫 行事幹事，瀬戸雄介 Elements幹事，西原 遊 JpGU2023プログラム正委員，福士圭介 同副委員，門馬綱一 新鉱物・命名・分類委員会委員長，林 信太郎 教育普及委員会委員長，土屋 旬 IMA小委員会委員長・学術会議連携会員，桂 智男 日本鉱物科学会賞選考委員会委員長，池田 進 応用鉱物科学賞選考委員会委員長，佐野 亜沙美 日本鉱物科学会論文賞選考委員会委員長，遠藤俊祐 選挙管理委員会委員長，伴 雅雄 会長・副会長推薦委員会委員長
欠席：道林克禎 2024年年会運営委員会委員長

【9】 議事概要

大和田理事の発議により議長を理事の互選で選ぶことになり，磯部博志理事が議長に選出された。次に，決議定足数と開始時刻における出席理事数の確認を行い，理事19名の出席を確認したので，定款30条により理事会が成立した。このことを受け，磯部議長はWEB会議システム(ZOOM Meeting)を用いての理事会開会を宣言した。また，WEB会議システムの通信状況(出席者全員の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり，適時的確な意見表明が互いにできる状況)に問題がないことを確認し，2023年度第2回定例理事会を開始した。

会議に先立ち，理事の互選で磯部博志理事が書記として選出された。

I. 報告事項

1. 会長・副会長の職務執行報告（大和田会長，井上副会長）

会長より，学会の状況について簡単な報告があった．個別の業務は各担当者に一任していることから，議事次第に沿って各担当者から報告を行う旨，発言があった．

2. 会員報告（阿部会員幹事・理事）

阿部会員幹事より2023年度第1回臨時理事会(2023年12月14日)以降の会員動静について以下の通り報告がなされた．

物故会員1名（永年会員1名），退会者14名（永年会員1名，一般会員3名，シニア会員3名，学生会員7名）

この結果，2024年5月20日現在の会員数は

817名(2023/12/14臨時理事会)-1(物故)-14(退会)=802名 となった．

また，2年間会費未納により会員停止予定者が8名ある旨報告された．

なお，11名の入会申込みに対し，この後審議を行う．

3. 広報報告（大藤広報幹事・理事）

大藤広報幹事より，広報活動について以下の通り報告がなされた．

1. 会員へのML送信

事務局の猪狩さんから会員向けにメールニュースを送信いただいた．2023 年年会・総会以降，10件：2023 年年会・総会の終了報告，研究発表優秀賞の審査結果，JMPS 特集号への Letter 原稿募集，Elements のオンライン購読への変更について，各賞受賞候補者募集推薦のお知らせ，2024 年年会スペシャルセッション募集のお知らせ，次期役員候補者推薦のお願いなど．

2. 学会新 HP と公式 SNS（Facebook，twitter），YouTube を通した広報活動．

新ホームページに学会連絡や年会情報，公募情報，関連学会情報，新刊紹介などを掲載した．公式 SNS については，フォロワーに一般の方が多く含まれるという状況を考慮し，HP で周知する学会事務連絡や公募情報などは掲載せず，一般向け周知にふさわしい内容のものに限って発信をしてゆく方針での運用としている．また会員関係者から依頼のあった周知情報の発信を行った（催し・お知らせ 1 件ほか）．YouTube チャンネルでの公開動画も徐々に増え，視聴回数も上昇中（2024/5/20 現在の視聴回数：「岩石を切ってみよう」7,555 回，「教えて！シリーズ第 4 弾 鉱物の定義編」4,859 回など）．今後も新たな動画を配信予定．

3. 地学オリンピック「地球にわくわく未来ガイド」への広告掲載

地学オリンピック参加者へ配布する冊子「地球にわくわく未来ガイド」に日本鉱物科学会の紹介広告を掲載した．

4. JpGU2024 における現地ブース展示

日本地球惑星科学連合 2024 年大会 JpGU2024（幕張）において，昨年に続き現地ブース展示を行う予定．クイズラリーにも参加し，景品としてヒスイとスピネルを提供．

5. 「鉱物・宝石の疑問 50」の編集委員会の設置

成山堂書店より出版依頼のあった「みんなが知りたいシリーズ 鉱物・宝石の疑問 50」の編集委員

会（暫定，宮脇（代表），井上，北脇，大藤，永寫）の立ち上げと執筆方針・スケジュールの確認などを3月4日にZOOMで行った。近く執筆者の素案を検討し，6月以降執筆依頼を行う予定。

4. 和文誌編集報告（高澤和文誌幹事・理事）

高澤和文誌幹事より，編集状況について議事資料により報告がなされた。

編集，発行状況

53巻電子ジャーナル7編公開（受賞記念研究紹介4編，博士課程学生・若手研究紹介1編，解説・資料1編，原著論文1編），受理論文1編，現在査読中の論文5編（総説2編，受賞記念研究紹介1編，原著論文1編，博物館紹介1編）

5. 英文誌編集報告（M. Satish-Kumar英文誌幹事・理事）

M. Satish-Kumar英文誌幹事より，編集状況について議事資料により報告がなされた。

1. JMPS現状報告

1) 投稿数状況：2022年下半期以降は，コロナの影響からの回復が進みつつある。

2) 編集状況：早期公開・印刷準備中；6件，査読中：13件，返却中：8件

3) 発行状況：

118巻1号 原著論文20編 Letter4編 Reviews2編 計302頁

118巻ANTARCTICA号 原著論文17編 計309頁

119巻1号 原著論文6編 Letter2編 計78頁

119巻ANTARCTICA号 原著論文2編 計23頁

完全電子ジャーナル化に伴いページ数が増えている。

特集号の提案をお願いしたい。

4) Impact Factorは6月に更新される。

6. 庶務報告（磯部庶務幹事・理事）

磯部庶務幹事より，2023年度第1回臨時理事会(2023年12月14日)以降の状況について以下の報告がなされた。

1. 他団体行事への後援について

日本結晶学会講習会 「粉末X線解析の実際」 2024年7月25, 26日

日本熱測定学会 第60回熱測定討論会 2024年9月26～28日

日本高圧力学会 第65回高圧討論会 2024年11月13～15日

2. 2019年に締結したモンゴル資源地質学会との交流協定は，名古屋大学での2024年年会に合わせて延長調印の運びとなった。

3. 役員改選，第3回定例理事会，

7. 行事・年会報告（片山行事幹事）

片山行事幹事より，2024年年会（名古屋大学）の準備状況について以下の通り報告がなされた。

会告を4月下旬に行い，webページの公開を開始した。

形式は昨年と同様，口頭発表は現地とオンラインのハイブリッド，ポスター発表は現地のみとする。

例年に加えスペシャルセッション1件，シンポジウムが追加され12セッションを開催する。
6月中旬発表募集，8月プログラム編成へ向けて準備中

8. 2023年度会計中間報告（富岡会計幹事・理事）

富岡会計幹事より，日本鉱物科学会2023年度会計収支中間報告(2023年8月1日～2024年5月10日)について，収支表が提示され詳細な説明がなされた。

事務局委託後1年以上が経過し，学会会計年度として委託後最初の年度となる。会計状況は良好。赤字は出ない見通し。

収入

会費納入率はクレジット決済となり90%を越えている。

出版物収入 200万予算に対し340万円以上となっている。JMPS特集号が寄与している。

年会収入は正味28万円の黒字

現段階の今年度経常収益計見込みは1218万円

支出

刊行費は約230万を今後支出予定

Elements 2023年支出分は170万円の予算に対し174万円となった。円安の影響。

今後請求される2024年前半分は従来の半期6000\$が5369\$となっている。円安が相殺されることを期待。

事務局委託費 160万円の予算に対し，2023年4～7月分約34万円を鉱物科学会今年度会計から支出済。

経常費用計 現状約943万円 今後の収入/支出予定を加えるとほぼ収支均衡または若干の黒字の見込み。

来年度以降もこの状況を期待する。

9. 会長・副会長候補者推薦委員会報告（伴委員長）

伴委員長より，会長・副会長候補者の推薦について以下の通り報告がなされた。

1. 会長候補者については，指定期日までに会員からの推薦が無かったため当委員会(鍵裕之，永井隆哉，興野純，阿部なつ江，伴雅雄)として井上 徹会員を次期会長候補者に相応しいと判断し，推薦することとした。本人からの承諾も得ている。

会長候補者 井上徹 会員 広島大学大学院先進理工系科学研究科 高圧地球科学

2. 副会長候補者については，指定期日までに会員からの推薦が無かったため当委員会で協議し，中村美千彦会員を推薦することとした。本人からの承諾も得ている。

副会長候補者 中村美千彦 会員 東北大学大学院理学研究科 火山学・岩石学

以上を2024年5月6日に選挙管理委員会に届け出た。

10. 選挙管理委員会報告（遠藤俊祐 委員長）

遠藤委員長より、以下の通り報告がなされた。

役員選出内規に基づき、投票月7月中の3ヶ月前の2024年3月25日に役員候補者推薦について公示した。

期日までに、会長候補者として1名、副会長候補者として1名、理事候補者として21名、監事候補者として1名の届出があった。

今後予定通り、投票期間初日の30日前まで学会HPに公示し、7月に選挙を実施する。

11. 将来企画委員会報告（井上委員長・副会長）

将来企画委員会は前回理事会以降開催していない。

科研費研究成果公開促進費 国際情報発信強化への申請は不採択であった。次回も申請を行いたいので、JMPS編集委員会等に協力をお願いしたい

審査員からIFが低いことが指摘された。

コメント

IFの上昇には、外部への発信を強化するなどの抜本的対策の必要があるのでは。

2026JpGUはAGUとのジョイントとなる。宣伝機会として活用できるのでは。

12. その他委員会等報告

教育普及委員会 林委員長

中学校理科鉦物名統一について 高校理科教科書記述を含め検討を継続中。

学習指導要領改訂について 高校必修科目として理科総合が設置される可能性がある。意見照会への対応を準備中。

IMA小委員会 土屋委員長

5月14日にIMA小委員会を開催した。

IUGS geological heritage site へIMAからも申請することが提案され、情報収集することとなっている。

IMA報告 secretary辞任により大藤会員が暫定secretaryに就任した。

ダブリンbusiness meetingに参加し、評議員改選に投票する

JAMSウェブサイトにIMA小委員会議事次第等掲載されている。

13. その他の報告

特になし。

II. 審議事項

第1号議案 新入会承認（阿部幹事・理事）

阿部会員幹事より、一般会員6名、学生会員5名(記載省略)の入会申請が紹介された。うち、i 一般会員5名は紹介者がなく、自己紹介文による申込みであったため、略歴および自己紹介文を提示した。審議の結果、11名すべて異議なく入会が承認された。

この結果、2024年5月20日現在の会員数総数は813名(内訳一般会員517名、シニア会員165名、学生会員86名、永年会員36名、名誉会員9名)で、2023年12月14日の臨時理事会後より4名の減少となった。

第1号追加議案(阿部幹事・理事、大和田会長)

名誉会員は現在9名となっている。名誉会員数の目安は会員の1.5%程度となっているので、3名程度の推薦をお願いしたい。

このため、大和田会長より名誉会員推薦委員会の設置が提案され、審議の結果異議無く承認された。次回理事会で委員を提案する。

第2号議案 各賞選考委員会報告と審議(大和田会長)

(1) 日本鉱物科学会賞選考委員会授賞候補者報告と審議(報告：桂委員長)

日本鉱物科学会賞選考委員会桂委員長より、2023年度日本鉱物科学会賞第29回ならびに第30回授賞候補者として橘 省吾 会員ならびに土屋 範芳 会員が報告され、受賞者として異議なく承認された。

2023年度日本鉱物科学会賞第29回受賞者

氏名：橘 省吾 会員(東京大学大学院理学系研究科宇宙惑星科学機構・地球惑星科学専攻)
業績題目「初期太陽系における惑星材料物質の化学進化に関する実験的研究」

2023年度日本鉱物科学会賞第30回受賞者

氏名：土屋 範芳 会員(八戸工業高等専門学校・東北大学名誉教授)
業績題目「岩石-水相互作用に関する研究」

(2) 渡邊萬次郎賞選考委員会授賞候補者報告と審議(報告：永井委員長)

渡邊萬次郎賞選考委員会永井委員長より、委員会で慎重に審議し選考した結果、2023年度渡邊萬次郎賞受賞第40回授賞候補者として松原 聡会員を推薦することが報告された。審議の結果、受賞者として異議なく承認された。

(3) 日本鉱物科学会論文賞授賞論文選考について(報告：佐野委員長)

日本鉱物科学会論文賞選考委員会佐野委員長より、委員会による選考ならびに投票の結果、下記1編が受賞適格論文として選出されたことが報告された。審議の結果、異議なく承認された。

Title: Petrogenesis of Oligocene to Miocene volcanic rocks from the Toyama basin of the SW Japan arc:
Temporal change of arc volcanism during the back-arc spreading in the Japan Sea. 118:026 (2023)
Authors: Raiki Yamada, Toshiro Takahashi, Yasuhiro Ogita

(4) 日本鉱物科学会研究奨励賞授賞候補者報告と審議(報告：片山委員長)

日本鉱物科学会研究奨励賞選考委員会片山委員長より、選考委員会で規定に則った審議の結果、2023年度日本鉱物科学会研究奨励賞第35回ならびに第36回受賞候補者として、石井貴之 会員ならびに松本 恵 会員を推薦することが報告された。審議の結果、受賞者として異議

なく承認された。

2023年度日本鉱物科学会研究奨励賞第35回受賞者

石井貴之 会員 (岡山大学惑星物質研究所)

研究対象：高温高压実験技術の開発とマントル鉱物の相平衡関係・結晶化学の研究

2023年度日本鉱物科学会研究奨励賞第36回受賞者

松本 恵 会員 (東北大学理学研究科)

研究対象：放射光X線CTと電子顕微鏡による始原的隕石・地球外リターンサンプル試料分析

(5) 日本鉱物科学会応用鉱物科学賞選考委員会授賞候補者報告と審議(報告：池田委員長)

応用鉱物科学賞選考委員会池田委員長より、選考委員会での審議の結果、2023年度日本鉱物科学会応用鉱物科学賞第16回受賞候補者として上杉健太郎氏を推薦することが報告された。審議の結果、受賞者として異議なく承認された。

2023年度日本鉱物科学会応用鉱物科学賞第16回受賞者

上杉健太郎氏 (公益財団法人高輝度光科学研究センター)

業績題目：SPring-8における放射光を用いたX線CT装置をはじめとするX線イメージング装置の開発と鉱物科学への応用

(6) 櫻井賞選考委員会授賞候補者報告と審議 (報告：松原委員長 代理：磯部庶務幹事)

櫻井賞選考委員会松原委員長の代理として、磯部庶務幹事より、選考委員会規定に則った審議の結果、2023年度櫻井賞授賞候補者は該当者なしとなった旨が報告された。

(7) 2023年度JMPS学生論文賞授賞論文候補報告と審議 (報告：M. Satish-Kumar JMPS選考委員長)

JMPS学生論文賞選考委員会Satish-Kumar委員長より、2023年度JMPS学生論文賞対象論文について編集委員会投票の結果、第17回授賞論文として下記1編を推薦することが報告された。審議の結果、異議なく承認された。

第17回受賞論文：Petrogenesis of Oligocene to Miocene volcanic rocks from the Toyama basin of the SW Japan arc: Temporal change of arc volcanism during the back-arc spreading in the Japan Sea. JMPS v.118, 026,(26p.) 2023

受賞者：Raiki YAMADA, Toshiro TAKAHASHI, Yasuhiro OGITA (山田 来樹 投稿時：新潟大学・博3在学)

論文賞と学生論文賞が同一論文となった場合の取扱について確認すべきとの提案があった。審議の結果、今回の授賞はそれぞれの提案通り同一論文を対象とするが、両選考委員会の情報共有のありかたを含めガイドラインの改訂について検討を継続することとなった。

第3号議案 研究発表優秀賞選考委員会に伴う新委員長の会長指名 (大和田会長)

委員長(会長指名)として本年度1期目副委員長である秋澤紀克会員が承認された。新規委員については、秋澤委員長による指名に基づき、次回理事会において審議する。

第4号議案 2025年年会(山口大学)運営委員名簿提出および日程案について (磯部庶務幹事・理事、片山行事幹事)

磯部庶務幹事ならびに片山行事幹事より、山口大学で開催される2025年年会の現地運営委員会委員長ならびに委員について次のような構成とすることが提案された。

2025年年会 現地運営委員

委員長：大和田正明（山口大学）

委員：永寫真理子（山口大学）

委員：江島圭祐（山口大学）

委員：太田岳洋（山口大学）

委員：志村俊昭（山口大学）

日程は、2025年9月10日（水）～12日（金）を予定している。

また、江島委員は行事委員会委員に加わって頂くことも合わせて提案された。

審議の上、異議なく承認された。

なお、地質学会は熊本で9月14～16日に、地球化学会は9月17～19日に開催予定とのこと。

第5号議案 総会開催日について (磯部庶務幹事・理事)

磯部庶務幹事より、2023年度定時総会を2024年年会期間中の2024年9月13日にWEB会議を含めて開催することが提案され、異議なく承認された。

これに伴い、議案書の決定を行う 2023 年度第 3 回定例理事会を 2023 年 8 月下旬に開催する。2023 年度定時総会における会計・業務執行報告、決算書等の監査は、下林監事と日程打合せの上、第 3 回理事会開催時刻前の当日、又は数日前までを目処に監査を実施する。

会計決算書の作成は、7月末までに事務局で帳簿作成を完了し、その後監査に間に合うように顧問先に決算書作成を依頼する。

追加

第6号議案 2024年度収支予算案の審議 (大和田会長, 説明: 富岡会計幹事・理事)

富岡会計幹事より、2024年度収支予算案が提示され、概要について説明がなされた。

2024年度予算は2023年度並みの予算で編成している

特定資産（学会賞基金）の今後の扱いについては、来年度審議をお願いする。

審議の結果、異議無く承認された。

なお、例年通り、今回の第2回理事会では、現時点での来年度予算案についてご審議・ご承認

をいただいたが、7月末の決算時に繰越金を積算して更に補正予算を立て、第3回定例理事会に提出して最終承認を受けることになる。予算は理事会承認事項であり、総会承認事項ではないが、総会では最終予算案を報告する。

また、渡邊萬次郎賞関連の支出については、伝統的に支出していたお車代を廃止することとし、メダル在庫（現時点で10個）への打刻費のみで当面の間は運用することとする。今後については継続して検討することとする。

その他審議事項

特になし。

【10】閉会

閉会 以上の議事を終え、18時57分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、出席した会長、副会長及び監事がこれに記名押印する。

令和 6年 6月 日

会 長 大和田 正明 印

副会長 井上 徹 印

監 事 下林 典正 印